

「小中高で思考力・判断力・表現力をどう育てるか？」 －問題解決・探究活動を通して－

日 時：2019年1月13日（日）13時～18時 14日（月祝）9時～16時

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟1階102室
東京都渋谷区代々木神園町3-1

主 催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会

協 賛：(株)アイカム、(株)アルファ企画、(株)島津理化、(株)第一学習社、(株)Naoco
(株)ナリカ、新興出版社啓林館 ほか

対 象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

参加費（当日会場にて）：事前申し込み 一般3,000円 会員2,000円 学生1,000円

当日申し込み 一般3,200円 会員2,200円 学生1,200円

参加申込：理科カリキュラムを考える会 HP <http://www.rikakari.jp/> からお申し込み下さい

配 信：本会会員には講演をインターネット配信予定（株式会社アルファ企画による協賛）

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [rikakari.jimu\(at\)gmail.com](mailto:rikakari.jimu(at)gmail.com)

高校学習指導要領における探究重点化を前に、小学校・中学校・高等学校を通して、問題解決学習・探究活動をどのように行い、高等学校卒業時にどのような能力を育成するのかが、問われています。

中学校の全国学力テストにもあるような、学んだことを使って答えの決まっていない課題に挑む力は、どのように育成できるのでしょうか？また、課題研究に取り組ませることと、教科の授業を探究的に進めることには、どのような関係があるのでしょうか？

「課題研究指導メソッド」著者の岡本尚也氏や、文部科学省の清原洋一氏によるご講演、実践事例や、問題解決・探究活動に使える教材の紹介を元に、今後の探究的な授業づくりのあり方についての議論を深めます。

1月13日（日）13:00～18:00（12:00 開場）

13:00-13:20 開会挨拶「少子高齢化とAI時代の理科教育の課題」

滝川洋二（本会理事長）

13:20-14:50 講演「課題研究の指導のポイントと本質」

岡本尚也氏（一般社団法人Glocal Academy）

15:00-16:00 講演「新学習指導要領における問題解決・探究活動」

清原洋一氏（文部科学省）

16:00-16:30 企業展示（問題解決学習・探究学習に役立つ教材機器ほか）・ポスターセッション

16:30-18:00 パネルディスカッション「問題解決・探究活動をいかに指導するか？」

岡本尚也氏、露木和男氏、佐々木清氏、滝川洋二理事長、司会：門倉松雄（本会理事）

19:00頃～ 懇親会（オリンピックセンター内レストラン「とき」（カルチャー棟2階）にて）

1月14日（月祝）9:00～16:00（8:45 開場）

09:00-09:30 「1日目の議論内容のまとめ」 本会理事会

09:40-11:50 分科会研究発表「小・中・高の理科授業のための教材・授業案の紹介」（3会場×3発表）

11:50-13:00 昼食・企業展示（問題解決学習・探究学習に役立つ教材機器ほか）・ポスターセッション

13:00-13:50 講演「探究的に学ぶ高等学校の授業づくり」

齋藤洋輔氏・市原光太郎氏（東京学芸大学附属高等学校）

13:50-14:40 講演「地域の課題に取り組む探究活動」

佐々木清氏（コミュニティ福島教育ディレクター）

14:40-16:00 総合ディスカッション

分科会発表一覧

会場	部屋	番号	発表者	発表内容
A	106	1	兵頭俊夫氏 (小中高理科カリキュラム研究会)	小・中・高を見通した系統的教科書作り (基本的考え方)
		2	瀬田裕司氏 (小中高理科カリキュラム研究会)	小・中・高を見通した系統的教科書作り (実践例：中学物理分野「光」の教科書)
		3	小中高理科カリキュラム研究会	探究的な授業と教科書のあり方について (ディスカッション)
B	108	1	小林昭三氏 (新潟大学教育学部)	近150年の物理学筆記から読み解く物理教育の価値 ある新実相と新創生
		2	佐藤克行氏 (神奈川県立高等学校) 実験機器取扱業者の方々	探究活動に役立つ実験機器のあり方 (各企業による導入例の紹介とディスカッション)
		3	佐藤克行氏 (神奈川県立高等学校) 実験機器取扱業者の方々	探究活動に役立つ実験機器のあり方 (各企業ブースを利用した実験機器の紹介と体験)
C	109	1	丹羽淑博氏 (東京大学海洋アライアンス) 佐藤峻一氏 (東京大学大学院教育学研究科・立川国際中等教育学校)	高校における数値シミュレーションを活用した 地球物理教育のカリキュラム開発
		2	本間貴之氏 (京都大学高等研究院 iCeMS)	iCeMS キャラバンによる探究活動
		3	門倉松雄氏 (玉川大学教師教育リサーチセンター)	小学校・中学校における探究活動のあり方

ポスター発表一覧

番号	発表者	発表内容
1	市川洋氏・丹羽淑博氏 (日本海洋学会教育問題研究会)	小学校4年理科「海のやくわり」の授業計画を考える — 探求的学習の入り口の素材として —
2	原田一貴氏 (東京大学大学院総合文化研究科)	大学院生指導員による生物探究学習のサポート実践
3	河野貴弘氏 (小野学園女子)	「油脂の酸化」を扱う探求的な授業プランの提案
4	林 衛氏 (富山大学)	市民性教育における“科学的探究”の意義 (14日のみ)

協賛企業一覧

企業名 (50音順)	展示内容
(株) アイカム	アイカム 50周年 いのちの科学映像
(株) アルファ企画	シンポジウム撮影および教育関連事業の紹介
(株) 島津理化	探究活動につながる理化実験機器の紹介 (14日のみ)
(株) 第一学習社	高等学校理科副教材の展示
(株) Naoco	「データがPC・タブレットに飛んでくる」(14日のみ)
(株) ナリカ	探究活動につながる理科実験機器の紹介
新興出版社啓林館	理科教材「課題研究メソッド」等の紹介